（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成24年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	鈴木利明	所　属	理学部数理科学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	微積分および代数学の講義または演習において、さまざまな概念の導入にそのモチベーションおよび歴史的背景をできるだけ説明する。90分の授業のうち、リフレッシュのために、雑談の時間を設ける。	0.30	年度目標にそって、概念導入のモチベーションおよび歴史背景の説明をおこなった。 またリフレッシュの時間を設けた。
研究	0.40	被覆群上の保型表現についての研究成果をまとめて論文を仕上げて投稿する。	0.40	被覆群上の保型表現について研究成果をまとめた論文を90%仕上げた。
社会貢献	0.00		0.00	
管理運営	0.15	個人情報管理および紀要編集その他の委員の職責を果たす。	0.15	個人情報管理及び紀要編集その他の委員の職責を果たした。
進路指導	0.15	4年次の指導教員として、就職および進路の指導を行う。	0.15	4年次指導教員として、就職および進路の指導を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	志賀博雄	所　属	数理科学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	教養科目,専門科目とも丁寧に学生が疑問を残さないように説明する。教養科目は,人数が多いので優しい問題を大部分の人がわかるまで解説する。	0.30	学生の理解が進んだと考える。
研究	0.30	（1）Lie型の微分方程式と一般重ね合わせの原理を連立リッカチ方程式の場合に沿って解明する。 （2）コホモロジー環が8次元でホモトピーオイラー数が0である楕円型有理ホモトピー型の分類の研究を始める。	0.30	(1) リー型の微分方程式の興味ある例を構成した。 (2) C上での分類に取り組んだ。
社会貢献	0.00		0.00	
管理運営	0.20	（1）URGCC委員として委員会に出席し,そこで出てきた仕事を行う。 （2）琉球大学営利企業役員等兼業審査委員会委員の仕事を行う。	0.20	数理科学科の原稿を作成した。
進路指導	0.20	ゼミの学生の進路について助言を行う。	0.20	助言を行った。1人は証券会社に就職し、1人は教員を目指している。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	前田高士	所　属	理学部	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.15	3年次代数学Ｉ、および4年次卒業研究において、基礎的な事柄を確実に習得させる。	0.20	・3年次前学期の代数学Ｉは、興味を持つ学生とそうでない学生が分離した(登録は43名)。・世話をした県外非常勤講師の集中講義には、31名を受講させた（うち単位取得者は27名）。しかし、その反動で、後学期の代数学Ⅱを最後の授業まで出席したのは4名だけだった。・４年ゼミ生のうち１名は、大学院に進学するので、内容に興味を持ってくれた。
研究	0.20	べき零変換、ヤング図形に関する研究を継続する。	0.15	・2月、投稿中の論文の書き直しの要求が届いた。
社会貢献	0.10	8月、教員免許更新の講義を行う。	0.10	・６月、高校数学を考える会に参加した。・８月の教員免許更新は、受講者アンケートの結果（18名）から判断して成功したと思う。 ・現職高校教員の職務専念免除を全研究科に広げることを、来年度中期計画に加えるよう提案した。
管理運営	0.50	学科長の仕事を滞りなく行う。	0.50	・学科会議の時間を短縮した。 ・学科運営費の個人配分方法と転学科規程の作成、アクチュアリー試験の旅費の申し合わせ作成、大学案内の学科ページの全面改訂、理学部通信の掲載記事を非常勤講師に依頼、教職実践演習の準備を行った。
進路指導	0.05	4年次ゼミ生の進路指導を行う。	0.05	・大学院進学者の増加を目指して、卒業後の進路を自覚するためのアンケートを学部生全員に行った（結果は指導教員が保管）。 ・４年ゼミ生２名の教育実習を参観した（高校2つと中学1つ）。 ・就職希望の学生には、面接の助言などした結果、採用が決まった。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	神山 靖彦	所　属	理学部数理科学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・授業評価アンケートで、説明が丁寧で内容に興味が持てたと評価されるようにする。 ・幾何の講義で、ここで説明したことが私の研究内容にどう発展していくか概説する。	0.00	・数学序論の授業アンケートで、ノートがとりやすく講義内容も丁寧だと書かれた。 ・幾何の授業では、個々に得られた不動点定理がレフシェッツの不動点定理という見事な定理によって統一されることを紹介し、更に興味深い発展もあるので大学院で学んでみてはどうかと勧めた。
研究	0.30	・獲得済みの科学研究費補助金を有効に活用した研究を行う。 ・モーメント角複体に関する論文を執筆する。	0.00	・論文``Homology of the orbit space of a closed orientable surface”を国際誌 Advances and Applcations in Discrete Mathematicsに出版など、全部で査読付き論文3本、査読なし論文1本を出版した。 ・直接経費６０万円の科学研究費補助金を獲得した。
社会貢献	0.00		0.00	・雑誌Geometryのエディターに就任した。 ・６月に那覇国際高校で行われた高校数学教育を考える会に出席し、平成27年度入試について説明を行った。
管理運営	0.10	理学部予算編成検討部会委員として理学部の予算編成を行う。	0.00	理学部予算編成検討部会委員長として、理学部の予算編成の総括を行った。
進路指導	0.30	４年次のゼミの学生に適切な進路指導を行う。	0.00	・卒業研究の指導教員として、就職活動や教員・公務員試験対策などに積極的に取り組むよう指導した。また、安易な気持ちで教育実習に行かないよう指導した。2名とも公務員志望となったが、1名は採用試験に合格した。 ・修士２年次の学部生時代の年次指導教員であった関係で、種々の相談に応じた。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	0.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	須藤　隆洋	所　属	理学部数理科学科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	線形代数学演習、解析学序論、卒業研究、及び専門科目の準備	0.40	線形代数学演習、解析学序論、及び解析学Ⅳの講義を行った。また、学部学生３名の卒業研究を担当した。さらに、これらの専門科目の準備を行った。
研究	0.40	論文の投稿と論文の評論。また、依頼または必要に応じて研究発表を行う。	0.35	論文の投稿は2編であった。その内の１編は掲載予定となり、もう1編は審査中である。論文の評論は7編であった。また、日本数学会秋季年会において研究発表を1件行った。
社会貢献	0.10	論文の掲載、研究発表、及びゼミ生の研究授業への参加	0.10	論文の掲載は査読付き論文が3編であった。上記の研究発表を行った。また、ゼミ生2名の研究授業に参加した。
管理運営	0.10	地域貢献委員、高大連携委員、図書委員、1年次指導教員として貢献	0.10	地域貢献委員、高大連携委員、図書委員、1年次指導教員としての役割を果たし、管理運営に貢献した。
進路指導	0.10	卒業研究、1年次懇談会等における進路指導	0.05	卒業研究、1年次懇談会等における進路指導を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

(別紙１） 本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　　前	小須田　雅	所　　属	理学部　数理科学科	職　　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成２４年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成２４年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	・担当科目について学生の理解の向上に努める. ・授業終了時に板書は消さずに残し，次の授業者の目に触れるようにしておくことにより，授業内容や方法についての意見が得られるようにする. ・レジュメ等をサーバにアップし，学生の自習の利便性を高める	0.30	・担当科目について学生の理解の向上に努めた。 ・授業終了時に板書は消さずに残し，次の授業者の目に触れるようにしておくことにより，授業内容や方法についての意見が得られるようにした。 ・レジュメ等をサーバにアップし，学生の自習の利便性を高めるようにした。
研究	0.30	・数理解析研究所の研究集会で研究発表を行う. ・研究の成果を随時,他の研究者にＥ－ｍａｉｌなどで報告し,意見を交換する. ・研究成果を論文原稿としてまとめる.	0.30	・数理解析研究所の研究集会で研究発表を行った。 ・研究の成果を,他の研究者にＥ－ｍａｉｌで報告し,意見交換をした. ・研究成果を講究録にまとめた。
社会貢献	0.15	・大学での数学の教科書の執筆の手伝いをする. ・高校数学教育を考える会等に出席し，大学外の教育についての意見交換を行う.	0.10	・大学での数学の教科書の編集委員として編集者と連絡を取った。 ・高校数学教育を考える会等に出席し，大学外の教育についての意見交換を行った。
管理運営	0.15	・不要な書類作成等で各教員の負担が増えることがないように業務見直しについての意見を出す. ・書類作成の分担をこなし学科長の業務を助ける.	0.15	・不要な書類作成等で各教員の負担が増えることがないように業務見直しについての意見を出した。 ・随時、学科長の要望に応えることに努めた。
進路指導	0.10	・ゼミ生に対する就職進学指導を早めに行う. ・主に4年次生を対象に就職・進学の相談にのる. ・各種資格試験に関する情報を学生に随時伝える.	0.15	・ゼミ生に対する就職進学指導を行い、学部ゼミ生については前期中に内定を得ることが出来た. ・3,4年次生を対象に就職・進学の相談にのった.卒業生との連絡を取り、学生の就職活動の手助けをした。 ・各種資格試験に関する情報を学生に伝えるとともに過去の資格試験の問題を演習問題で解説したりした。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	金子譲一	所　属	数理科学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	・講義のシラバスを完全に消化する。 ・修士２年次の学生の修士論文の完成に向けて適宜指導する。	0.40	講義のシラバスはほぼ消化した。修士論文も無事完成した。
研究	0.40	Koornwinder多項式を用いたBaker-Forrester定数項予想へのアプローチの研究を継続する。	0.40	Koornwinder多項式とBaker-Forrester定数項予想との関連について研究を継続して若干の進展をみた。
社会貢献	0.00		0.00	
管理運営	0.05	数理科学科図書委員として図書雑誌購入製本等の業務を行う。	0.05	図書雑誌の購入及び製本雑誌の選定などの業務をおこなった。
進路指導	0.15	４年次１名及び修士２年次２名の修学及び就職について適宜指導す	0.15	４年次１名の及び修士２年２名の修学及び就職について指導をおこなった。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成24年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	杉浦　誠	所　属	理学部数理科学科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.45	担当する学部および大学院の授業を適正に行い、公正に評価をする。4年次の指導教員としての職務を適切に行う。	0.50	「微分積分学」「統計と社会」「確率統計学」等の学部および大学院の授業を適正に行い、公正に評価をした。理学部数理科学科4年次の指導教員としての職務を適切に行った。
研究	0.15	流体力学極限に関する研究を行い、成果が出れば発表する。	0.05	研究を行えるような十分まとまった時間の確保ができなかった。
社会貢献	0.10	教員免許更新講習を行う。	0.10	教員免許更新講習を適切に行った。
管理運営	0.25	自己評価委員、図書のWGおよびその他の委員を担当する。	0.30	全学の委員、学部内の委員、学科内のWGの職務等を、教員および事務員の方々と協力し全うした。
進路指導	0.05	4年次の指導教員として進路指導を適切に行う。学部4年次ゼミ生の進路指導、就職指導を行う。	0.05	目標に従って学生への進路指導を適切に行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	佃修一	所　属	理学部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	学生が自分の頭で考える習慣を身につけることが出来るようつとめる。	0.25	一部効果が見られたが、まだ工夫の余地があるように思う。
研究	0.55	現在のテーマの研究を粛々と遂行する。	0.55	遂行した。
社会貢献	0.05	教員免許更新講習に協力する。	0.05	教員免許更新講習を行った。
管理運営	0.10	教務委員として学科運営に貢献する。	0.10	貢献できたように思う。
進路指導	0.05	卒業研究のゼミ生は教員志望である。ゼミの実施において授業方法等の指導も行う。 また2年次指導教員であるので年次別懇談会等の機会を利用して進路に対する意識を高めるようつとめる。	0.05	指導を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	橋本　康史	所　属	理学部数理科学科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.35	工学部1年生の微分積分学の講義と、理学部数理科学科1年生の基礎ゼミを担当している。講義では、具体的な計算例を多く提示するとともに、演習問題を学生が自分自身で解くための時間を設けることで、実践的な計算力を身につけさせる。基礎ゼミでは、少人数の利点を生かし、各々の学生の得手不得手を把握し、不得手を克服できるような課題を与えることで、基礎的な学力を身につけさせる。	0.00	微分積分学の講義では、実践的な計算力を身につけるための、具体的な計算例の提示、演習時間の確保などの工夫を行った。その結果、実践的な計算力を重視した定期試験では良い点数を獲得した学生が少なくなかった。基礎ゼミでは、おもに微分積分学を取り扱った。微分積分学の講義で理解しずらい部分に焦点をあて、それに応じた課題を取り扱った。それによって、難解な部分の理解の手助けができたと考える。
研究	0.50	主に、双曲多様体上の素測地線分布とスペクトル分布に関する研究、および、公開鍵暗号方式の安全性評価に関する研究を行う。前者については、2つの分布の相互作用的な研究の進展が期待できる。後者については、多変数暗号に対する新たな攻撃法を検討している。成果が得られ次第、学術誌への論文発表および研究集会での口頭発表を積極的に行う。	0.00	前者の研究については、合同部分群に関する素測地線定理の誤差項の評価を行った。この研究については、結果を論文としてまとめ、学術誌に投稿する予定である。また、後者の研究については、三浦浩之・高木剛（九州大学）との共同研究で、多変数連立2次方程式の解法に関する研究を行った。この研究については、論文にまとめ、国際研究集会（査読有）に投稿中である。
社会貢献	0.00		0.00	
管理運営	0.15	教員の一人として、学部学科における職務に従事する。	0.00	理学部数理科学科の1年生の指導教員をつとめた。また、学部では広報委員として、ホームページの管理やオープンキャンパスの企画などを行った。また、他の委員の仕事も行った。
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	0.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	山里　眞	所　属	理学部　数理科学科	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	講義内容を事前にプリントとして配布する.数理ファイナンスの研究で得た結果に関連した内容を講義に取り入れる.	0.30	目標を達成できた。
研究	0.25	未完のいくつかの研究を完成させる。外部資金を獲得する。	0.25	論文を１編書き上げ、国際誌「Theory of Probability and its applications」に掲載された。科研費を獲得した。
社会貢献	0.25	Mathreview の reviewer としての仕事を継続する。	0.25	Mathreview の reviewer として 10編の論文を review した。
管理運営	0.00	対象外	0.00	対象外
進路指導	0.20	2名の４年生と修士１年の１名、修士２年の２名のゼミ生の進路指導を	0.20	修士２年の２名は就職先が内定した。１名はアクチュアリーの試験に3科目合格した。４年生の２名は就職希望であった。就職についてアドヴァイスしたが、２名ともまだ就職先が決まっていない。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	菅 修一	所　属	理学部数理科学科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	情報科学演習, 計算機概論Ｉで新システムに合わせてテキストを改訂する. 演習系の講義のテキストを Web におく.	0.30	情報科学演習, 計算機概論Ｉで新システムに合わせてテキストを改訂した. 前期の講義のテキストと基礎ゼミＩの資料を Web においた.
研究	0.10	Lie 代数の最高ウエイト表現の研究を続ける. ベキ零 Lie 代数の不変式環の研究をする.	0.05	Lie 代数の最高ウエイト表現の研究. ベキ零 Lie 代数の不変式環の研究は継続中である.
社会貢献	0.10	教員免許更新講習を実施する	0.10	８月19日, 石垣島にて教員免許更新講習を実施した.
管理運営	0.35	学科内のネットワークサーバーの管理をする. 大学院生のコンピュータ環境を整備する. 学科代議員としての職責をはたす.	0.35	学科内のネットワークサーバーはトラブルなく稼働した. 大学院生のコンピュータの一部をリプレイスした. 学科代議員としての職責をはたした.
進路指導	0.15	修士の学生, 卒業研究のゼミ生の就職指導・進学指導を適切に行う.	0.20	修士 1名の修士論文指導を行い, 無事修士の学位を取らせる事が出来る予定である. 卒業研究生 2名全員の就職先が確定している.
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	陳　春航	所　属	理学部数理科学科	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	共通科目「統計学」及び専門科目「関数解析学「Ⅰ,Ⅱ」、「情報数理学特論Ⅰ,Ⅱ」の講義、「卒業研究Ⅰ,Ⅱ06組」を通して4年次学生を指導する。大学院専門科目「数理統計学」、「数理科学特別研究Ⅰ、Ⅱ05組」、「数理科学特別研究Ⅰ、Ⅱ05組」、「情報数理学特別講義Ⅰ04組」の講義。	0.00	計画通りに行った。
研究	0.40	極値統計による津波や台風に関する研究、講演、論文投稿	0.00	計画通りに行った。
社会貢献	0.10	アクチュアリー資格取得のための指導、人材育成	0.00	計画通りに行った。
管理運営	0.05	「アジア太平洋域における大学院学生の国際連携教育」、「亜熱帯特別プログラム」、「理学部研究推進」、全学「国際交流」、「学生交流専門」運営委員会委員として貢献	0.00	計画通りに行った。
進路指導	0.05	4年次学生、大学院生、特別プログラム留学生に対する就職指導	0.00	計画通りに行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	0.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	木本 一史	所　属	理学部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	本年度は微分積分学ST（工学部），線形代数学（数理必修），代数学（高年次選択）の講義を担当している。低年次科目については基礎的事項の習得を重視する。代数学では整数論に関する様々な応用的トピックを紹介する。	0.00	微積分学STについて：前年度に引き続き、工学部の演習において微積の演習を行ってもらった（前期のみ）。来年度もそのようにしたい。線形代数について：昨年度よりやや難易度を落としたつもりが、それでもまだ難しいようだった。来年度は、難しい箇所にリソースをより集中するようメリハリを付けて対応したい。
研究	0.40	非可換調和振動子と呼ばれる微分方程式系から定義されるスペクトルゼータ関数にまつわる数論的問題、およびα行列式に関する表現論的問題の研究を推し進める。	0.00	目標に掲げたテーマについて研究を進めた。本年度中には、5つの講演を行った。また査読付き論文(共著1、単著1)が年度内に出版予定である。
社会貢献	0.05	日本数学会の代議員および国立22大学数学系教室懇談会の学科代表を務める。	0.00	それぞれの委員として、特に他大学の数学教室との定期的な情報交換を行った。
管理運営	0.10	本年度は学部委員として教育委員を担当する。また日韓共同理工系学部留学生事業実施委員も務めている。委員としての業務を着実に遂行する。	0.00	それぞれの委員としての標準的な業務を遂行した。大きな問題はなかったように思われる。
進路指導	0.05	今年度は卒業研究に学生がついていないので直接的な指導をする機会はないが、選択科目の講義を通じて間接的に、学生たちの進学に対する心理的な障壁を取り除くことに勤めたい。	0.00	通常の講義以外の数学に目を向けるきっかけとなることを期待して、集中講義の内容やニュースで取り上げられた数学的成果などについて折に触れて学生たちに紹介した。研究室にニュースソースについて問い合わせに来た学生もいて、多少は意味があったように思われる。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	0.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	眞野　智行	所　属	理学部数理科学科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	初学年向けの講義および少人数ゼミを担当している。ゼミでは高校数学との関連を考慮した課題を与えることにより大学で必要な基礎学力の定着をはかる。講義でも演習の時間を取って実践的な学力を身につけさせる。また4年生の卒業研究および大学院教育も担当しているが、こちらは私自身の研究の状況を関連させることにより高度な専門知識を身につけさせることを目標とする。	0.30	数理科学科１年次向けの基礎ゼミおよび全学共通科目の講義を行い、適切な課題を与え基礎学力の定着に貢献した。４年次の学生および数理科学専攻平成２３年入学生の指導教員として卒業研究および論文作成の指導を行った。
研究	0.30	モノドロミ保存変形と特殊関数の関連を中心として研究を行う。特に昨年度得られた結果が新しい展開を見せ始めており、これについて重点的に研究する。得られた成果について学術誌への論文発表および学会での発表を積極的に行いたい。また学内および学外の研究者との共同研究を行っており、今年度も継続して研究を進める。	0.25	パンルヴェ6型方程式の代数解についての研究を行い、論文を執筆した。また共同研究にも取り組み、研究集会等で成果を発表した。
社会貢献	0.05	教員免許状更新講習を提供する予定である。数学のより進んだ内容について講義することにより、教科内容について広い視野を持ってもらうことを目標としている。	0.05	教員免許状更新講習で中学および高校の数学担当教員に対して講義を行った。
管理運営	0.20	選挙管理委員および学科の教務委員に当たっている。学部・学科運営に際して支障が出ないように業務を遂行したい。また学生支援委員にも当たっているので、学生の進路・就職活動についてバックアップを行いたい。	0.30	学科内の教務委員および学部の委員としての職務を全うした。学生支援委員としても就職セミナーの開催や保護者向けニュースレターの原稿作成に関わる業務を行った。
進路指導	0.15	3年次の指導教員を担当している。学生支援委員の仕事と合わせて、学生の進路指導・就職活動についてのバックアップを行いたい。	0.10	年次懇談会等でインターンシップや就職説明会の参加に関する指導を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	林　正史	所　属	理学部数理科学科	職　名	助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	前期：解析学序論演習(金3) 後期：解析学序論演習(金3)　基礎ゼミ(月3)	0.30	前期：解析学序論演習(金3) 後期：解析学序論演習(金3)　基礎ゼミ(月3)を適切に提供した。
研究	0.50	確率解析の研究を継続する。CREST「複雑な金融商品の数学的構造と無限次元解析」に参加し数理ファイナンスに関連した確率解析の諸問題について研究を行う。	0.50	確率解析の研究を行った。また、CREST「複雑な金融商品の数学的構造と無限次元解析」に参加し数理ファイナンスに関連した確率解析の諸問題について研究を行い、論文を執筆した。
社会貢献	0.00	なし	0.00	なし
管理運営	0.20	冠婚葬祭委員、ハラスメント等人権侵害相談窓口担当者	0.20	冠婚葬祭委員、ハラスメント等人権侵害相談窓口担当者の職務を全うした。
進路指導	0.00	なし	0.00	なし
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。